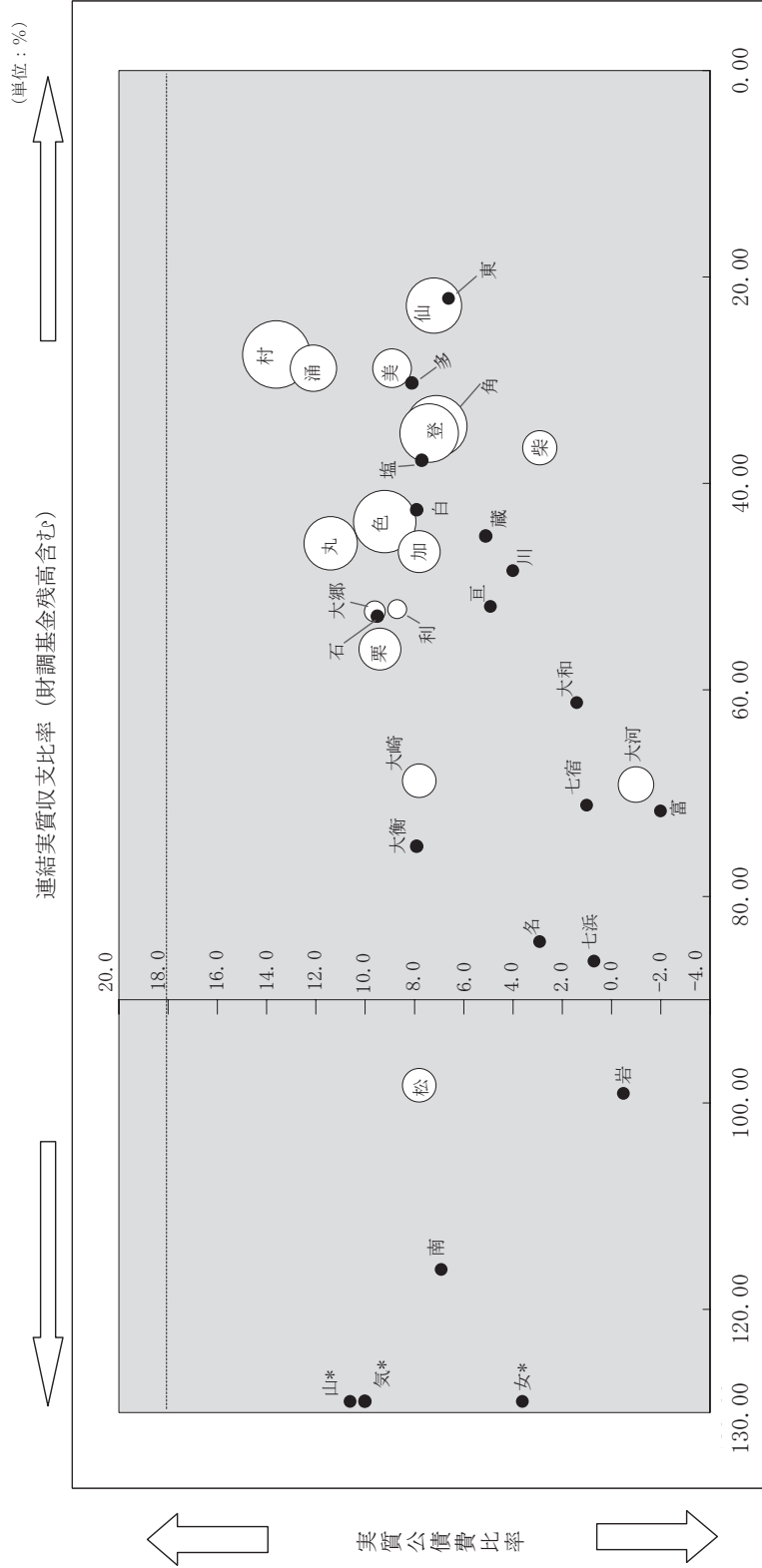


### 3 県内市町村の健全化判断比率に係る分布図

以下の分布図は、県内市町村の健全化判断比率について、横軸で連結実質収支比率、縦軸で実質公債費比率、丸の大きさを将来負担比率を表したものである（黒丸は将来負担比率で充当可能財源が将来負担より大きい団体）。

※連結実質収支比率の分子には、一般会計等における財政調整基金残高を加算している。連結実質収支比率そのものではない点に注意。  
なお、一般会計等における財政調整基金残高については、26ページを参照。



※連結実質収支比率 (財調基金残高含む) について、気仙沼市は139.6%、山元町は177.9%、女川町は417.6%だが、分布図レイアウトの都合上、図上では位置を調整している。  
※実質公債費比率について、気仙沼市は10.3%だが、分布図レイアウトの都合上、図上では位置を調整している。